



第26回鹿大島嶼研究勉強会

奄美分室で  
語りま  
しょう

# 奄美群島の森林の特徴について

相場 慎一郎（鹿児島大学理工学研究科）

第26回のお話提供者は、鹿児島大学で森林の研究をしている相場慎一郎先生です。日本の生物相は屋久島と奄美群島の中に引かれる生物分布境界線（渡瀬線）で二分され、渡瀬線以北では温帯系の生物が優占するのに対し、渡瀬線以南では熱帯系の生物が多くなります。ただし、植物では動物ほど劇的な違いは見られず、九州から奄美群島にかけての森林の変化は意外と連続的です。九州や屋久島、沖縄島などのデータと比較しながら、奄美群島（奄美大島と徳之島）の森林の特徴について一緒に考えてみませんか。

2019年

6月10日（月）

17:30~18:30 頃

終了後、分室にて懇親会あります

場所：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室

飲み物、軽食、持ち込み大歓迎！

どなたでもお気軽にどうぞ！

（人数把握のため事前にご連絡いただくと助かります）

問い合わせ先

世話人：藤井琢磨・鈴木真理子

鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室 〒894-0026 鹿児島県奄美市名瀬港町 15-1 紬会館 6F

Tel: 0997-69-4852 Fax: 0997-69-4853, E-Mail: amamist@cpi.kagoshima-u.ac.jp

